

令和4年度  
教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検・評価報告書



出雲崎中学校創立 50 周年記念式典

令和5年3月  
出雲崎町教育委員会



## 目 次

	頁
はじめに .....	1
I 総合教育会議 .....	3
II 教育委員会の会議及び活動状況 .....	4
III 学校教育	
1 出雲崎小学校 .....	7
2 出雲崎中学校 .....	11
3 学校支援地域本部事業 .....	15
IV 社会教育事業の実施状況	
1 社会教育・公民館事業 .....	19
2 図書館事業 .....	26
3 社会体育事業 .....	29
V 学校・社会教育施設の整備充実 .....	34
VI 学識経験者からの総合評価 .....	35
VII その他 .....	36

## はじめに

### 1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和4年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

### 2 学識経験者の知見の活用

令和4年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、元長岡市立東中学校長の佐藤忠弘氏（長岡市・旧三島町在住）から、第6次出雲崎町総合計画における教育関係の基本計画及び町教育計画を踏まえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

### 3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 本年度計画していた柳津町教育委員との研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としたが、来年度以降も委員の資質向上に向けた研修機会を設けていく。
- (2) 確かな学力向上に向けて小学校1校・中学校1校のメリットを生かすため児童・生徒主体の授業構成、振り返りを重点にしており、また発達段階に応じて学ぶ環境や習慣の基礎、基本を大切にした教育を実践している。全国学力学習状況調査の結果では、小・中学校ともに国語、理科は全国平均及び県平均を上回っているが、小学校の算数、中学校の数学は全国平均及び県平均を下回る結果となっている。今後も基礎的基本的な内容を確実に習得させる授業を大切にするとともに、家庭学習時間を一層増やしていく取り組みが必要である。
- (3) 学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助員を小学校3名、中学校に2名配置している。特に外国語では、表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため、小3から中3まで英語指導員を配置している。  
また、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小3から小6の理科には「理科教育支援員」を配置し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう取り組んでいる。
- (4) 社会教育活動では、「出雲崎総合大学」事業は、24年間継続している事業で参加者の満足度も高く喜ばれているが、今後も多彩な講座やセミナーを計画していく中で、身に着けた知識や技能を地域などで活かすことのできるコーディネーターを増やす必要がある。
- (5) 小学校児童の放課後の学びの場として、「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」をより安全に過ごし、多様な体験や活動行うことができるように「放課後子ども総合プラン運営委員会」で、検証・評価を行っている。

- (6) 新型コロナウイルス感染対策に係る学校、公共施設での必要な物品や対応マニュアルを作成し随時見直しを行い運用している。特に学校での万が一に備えた行動パターンを学校と共有することができた。

#### 4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

- (1) GIGA スクール構想を更に進めるに当たり、すべての児童生徒が一人一台の端末を有効適切に活用し、個別最適な学びを確立できるように教育行政の質的向上に努めた。そのために学校現場が ICT 機器を活用した授業づくりを積極的に進めることができるような研修体制の構築を図っている。
- (2) 令和3年度から、小学校で発達障害の通級指導教室が開設されたことに伴い、通常学級に在籍していながらも特別な支援を要する児童生徒が、町内で個々のニーズに応じた指導が受けられる体制が整備され運用している。
- (3) 中学校が新学習指導要領全面実施に伴い、児童生徒個々の学力を確実に高めていくために、小中連携した学習の取り組みを進めていく。特に小学校3、4年生の英語活動、小学校5、6年生の教科英語、新学習指導要領の下での中学校英語の連携を一層緊密にしていくことが求められている。教育委員会が町教研活動に働きかけながら教職員の研修意欲を高めていく。
- (4) 学習面では、小中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。  
総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を授与し、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。
- (5) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、教員補助員や介助員の配置により特性に応じた指導、支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。
- (6) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。
- (7) 青少年の SNS に係るトラブルが増加していることから、小・中学校においてタブレット端末の正しい使い方と危険性について指導・啓発を一層進めていかなければならない。

# I 総合教育会議

- (1) 新教育委員会制度により、町長が招集する「総合教育会議」を令和4年6月13日に開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行いました。

出席依頼者	出雲崎町長	小林 則幸
	教育長	曾根 乗知
	教育委員	佐藤 正志
	教育委員	大磯多華子
	教育委員	宮田よしみ
	教育委員	松岡 聡
	教育課長	内藤 良治
	管理指導主事	近藤 道範
	教育課課長補佐	吉岡 育子
	学校教育係長	高橋 聡

- ・意見交換の基となる教育長、管理指導主事からの説明事項

1 出雲崎町の教育の現状と課題について（教育長）

今年度の教育方針として、第3次出雲崎町生涯学習推進計画に基づき、以下の視点からの説明があった。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策下での教育活動
- (2) GIGAスクール構想の推進のための取組
- (3) 個別最適化の学びを推進する特別支援教育の充実
- (4) いじめ対応
- (5) 学力テストの結果を活かした学力向上の取組
- (6) 学校における働き方改革の推進

2 出雲崎町立小中学校の現状と課題（管理指導主事）

学校教育現場から見た状況等の説明があった。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策下での教育活動と学校管理
  - ① 新しい生活様式の下で入念な感染対策と学びの保障
  - ② 新型コロナウイルス感染症陽性者判明時の対応マニュアル
- (2) GIGA スクール構想の推進に向けた取組
  - ① 「学習端末活用の手引き」に基づく校内での端末の活用
  - ② 家庭での学習端末を推進する利活用方法の検討
  - ③ 情報モラル教育の一層の充実
- (3) 個別最適化の学びを推進する特別支援教育の明確化
  - ① 児童生徒の障害の程度やニーズに応じた合理的配慮と周囲の理解
  - ② 発達障害通級指導教室の体制づくり
  - ③ きらり・教育委員会・学校が連携した適正な就学相談体制の充実
- (4) いじめ対応
  - ① 令和4年度のいじめ認知 小学校 1 中学校 3
  - ② 重大事態発生時の市町村調査機関（第三者委員会）の設置



## II 教育委員会の会議及び活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催（定例会 5 回、臨時会 3 回）		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/26	奨学金の貸与 学校評議員、社会教育委員、公民館運営審議会委員、 スポーツ推進委員、教育行政点検評価員の委嘱 図書館協議会委員、スポーツ推進審議会委員の任命 (議案 8 件)
6 月定例会	6/13	教育費補正予算（5 月、6 月） (議案 2 件)
9 月定例会	9/2	令和 5 年度使用特別支援学級用一般図書の採択 物価高騰対策学校給食費補助金交付要綱の制定 教育費補正予算（9 月） (議案 3 件)
12 月定例会	12/9	指定有形文化財の諮問 教育費補正予算（12 月） (議案 2 件)
3 月定例会	3/8	個人情報保護に関する法律施行条例の施行に伴 う関係条例の整理に関する条例の制定、特別職の職 員で非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条 例、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関す る基準を定める条例の一部改正 教育委員会表彰 教育費補正予算（3 月）、教育費当初予算 (議案 6 件)
3 月臨時会	3/22	教育委員会事務局及びその他の教育機関の職員の 人事異動 文化財の指定 第 2 次子ども読書活動推進計画の策定 公民館設置及び管理に関する条例施行規則、体育施 設の設置及び管理に関する条例施行規則、町立小・ 中学校巡回指導事業実施要綱、奨学金返還支援事業 助成金交付要綱、物価高騰対策学校給食費補助金交 付要綱の一部改正 教育委員会における出雲崎町個人情報保護条例施 行規程の廃止 (議案 9 件) 教職員の人事異動、教育委員会職員事務分担

(2) 教育委員研修
・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会（中止）
・意見交換会（柳津町 中止）
・庁内研修 5回 「4月・6月・9月・12月・3月」
(3) その他の参加活動状況
・転入教職員面識会（4月1日）
・未来の夢こども体験講演会（11月21日）
・学校施設営繕視察検討会（12月9日）
・町教育委員会表彰伝達式（3月8日）
・町二十歳の集い（8月16日）

## ▶概要

令和4年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を1回開催し、30件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

また、教育委員の活動状況は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年間を通して学校行事や研修会、社会教育行事等が縮小しての実施や開催そのものが中止となり、自らが教育委員としての資質向上や、教育分野の視野を広げる活動を今までと同じ方法で行うことが非常に難しい状況であった。

## ▶成果と課題

- (1) 町長と教育委員による総合教育会議の開催より、新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底や特別支援教育の充実、キャリア教育の推進を図るなど、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) 教育委員会を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委員と事務局の情報共有を進め、審議の活性化に努めた。
- (3) 教職員が児童・生徒の様子を把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「出雲崎町いじめ防止基本方針」による取組や学校とPTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。
- (4) 自然体験として小4～小6までを対象にスキー教室を行った。また小1～小3も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身、技能を高める目的で今後も続けていく。



- (5) 教育支援相談は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員（保健師）による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門職による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (6) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の一部を助成しており、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。
- (7) 小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に対し、入学祝い金の支給を入学前の2月に支給し、入学時における家庭の経済的負担の軽減を図っている。
- (8) 若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成し、着実に成果を上げている。
- (9) 昨今の通学途中の犯罪や交通事故を背景に、登下校の児童・生徒の安全確保が求められており、冬期間に限り自宅から3km以上の中学生にスクールバスの運行を継続し、遠距離生徒の通学の安全確保が図られている。
- (10) 町と出雲崎高校との包括協定が締結され、交流や連携を図りながら同校の持続的発展、地域貢献できる人材に結びつけるため、教育活動への人的・物的資源の活用や支援を積極的に行っていく。



総合学習（良寛学習 小3）



学習発表会

# Ⅲ 学校教育

## 1. 出雲崎小学校

# 令和4年度 出雲崎小学校 学校評価だより

7月にご回答いただいた学校評価アンケートにおいては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

今後とも、全職員一丸となって教育活動に邁進してまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。  
出雲崎小学校 校長 五十嵐 悟



評価目標に達している。 ◎ 目標まで5%以内

↑↓：昨年度12月末の結果と比較して、5ポイント以上の変容

(アンケート文言が一部変更の場合には、似た設問で比較してあります。)

児童アンケート結果			保護者アンケート結果		
	7月評価	比較		7月評価	比較
1	学校は楽しいですか。	95	1	お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。	96
2	授業中、進んで学習(自分で考えたり、発表したり、友だちと相談したり)できましたか。	84 ↓	2	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。	74
3	授業が分かりますか。	95	3	お子さんは、学校の学習内容を理解していると感じますか。	83 ◎
4	毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	93	4	お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	78
5	係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。	93 -	5	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ(励ましや宿題の確認、アドバイスなど)をしていますか。	84 ◎
6	友達に、優しい言葉をかけていますか。	93 ↓	6	家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	73
7	相手の目を見て、あいさつすることができましたか。	86 ◎	7	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	98
8	休み時間や体育の時間に、進んで運動しましたか。	90	8	お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。	70
9	体育の時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。	93			
10	メディア(テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等)に関する家の人との約束を守っていますか。	91 -	9	メディア(テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等)について、家庭でルールをつくり、守らせていますか。	82 ◎
			10	学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。	93 ↓

※アンケート内容をそろえるため、設問の一部の順を変えてあります。

「7月評価」欄の数値は、アンケートでの肯定的回答を百分率(%)で表しています。学校のグランドデザインで示してある目標の達成度は ◎◎ で示し、矢印は昨年度12月の評価と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。評価結果が多少上下している項目もありますが、概ね80%以上の良い評価と受け止めています。

今後、低下している項目に関係する取組を工夫したり、マイナス傾向の評価をしている児童への働きかけに力を入れたりしていきます。

## 知育



### 豊かな学びを創る

成果

どの項目においても児童の肯定的な回答が90%以上でした。学習での課題の模範的な工夫や見通しをもった学習の進め方、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等により、子どもたちも真剣に学習に取り組もうとする意識を高めていると考えられます。

課題と取組

「授業が分からない」という子は、当然ながら「進んで学習に取り組む」ことができません。否定的評価をしている児童の実態把握に努め、職員間の連携を強化し、日常的に児童の情報交換を行いながら、個に応じた指導・支援を全校体制で進めていきます。個に応じた支援を工夫しながら、「分かった」「できた」経験を積み重ね、進んで学習に取り組む子をさらに増やしていきます。

## 徳育



### 豊かな感性と社会性を育む

成果

「学校が楽しい」「友達と仲良くできた」と答える児童が95%以上でした。校内全体が落ち着いて優しい雰囲気があるのだと考えられます。縦割り班活動や委員会活動という場があり、児童の活躍が認められる機会が昨年よりも多いことも一因と思われます。あいさつもよくなってきています。

課題と取組

相手意識をもつことなく声を出せばよいとか、数の多さだけを競うことによさを感じている児童もおり、あいさつすることの意義が理解できるようにしていくことが必要です。あいさつについては、児童会活動など連携して、気持ちの伝わるあいさつへの意識づけを工夫していきます。

## 体育



### 健康・安全と体力の向上を図る

成果

「進んで運動」「めあてに向かって…」の項目に肯定的に答えた児童が90%を超え、学校では、グラウンドや体育館、ほなみが丘で元気に体を動かす子が多いです。また、竹馬や一輪車、鉄棒や遊具などを使って遊ぶ姿も多く見られています。生活リズムも整ってきている児童が増えてきました。

課題と取組



メディアとのかかわりについての約束事では、児童90%、保護者79%と差がありました。ハッピーライフウィーク等の機会を活用し、家庭での規則正しい生活リズムの維持と向上に向けた児童への指導や啓発をしていきます。



















# 令和4年度 出雲崎小学校 学校評価だより



後期の学校評価アンケートにつきまして、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

今後とも、全職員一丸となって、教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。  
出雲崎小学校 校長 五十嵐 悟

グラウンドデザインの  評価目標に達している。  目標まで5%以内  
(知育面は85%、徳育・体育面は90%以上)

↑↓：今年度前期の結果と比較して、5ポイント以上の変容

児童アンケート結果		後期 評価	比 較	保護者アンケート結果		後期 評価	比 較
1	学校は楽しいですか。	98		1	お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。	94	
2	授業中、進んで学習（自分で考えたり、発表したり、友だちと相談したり）できましたか。	87		2	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。	80	 ↑
3	授業が分かりますか。	98		3	お子さんは、学校の学習内容を理解していると感じますか。	85	
4	毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	90		4	お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	75	—
5	係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。	94		5	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ（励ましや宿題の確認、アドバイスなど）をしていますか。	81	
6	友達に、優しい言葉をかけていますか。	96		6	家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	79	↑
7	相手の目を見て、あいさつすることができましたか。	88		7	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	98	
8	休み時間や体育の時間に、進んで運動しましたか。	92		8	お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。	76	↑
9	体育の時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。	93					
10	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）に関する家の人との約束を守っていますか。	86	 ↓	9	メディア（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）について、家庭でルールをつくり、守らせていますか。	75	↓
				10	学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。	96	

「後期評価」欄は、アンケートでの肯定的回答を百分率（%）で表しています。学校のグラウンドデザインで示してある目標の達成度は   で示し、矢印は今年度7月の評価と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。評価結果が多少上下している項目もありますが、大きな変化もなく概ね80%以上の良い評価と受け止めています。

やや評価結果の低い部分については、今後の活動の工夫をするなどして、新年度に向け前向きに学校生活を送れるよう支援していきます。

## 知育

### 豊かな学びを創る



授業への理解や家庭学習に関する項目で、児童の肯定的な回答が高く、学習意欲の高まりを感じます。めあてをもって授業に取り組む姿、授業での見通しをもった学習の進め方、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等による成果と思われます。

今後も、学力向上につながる授業改善を継続し、学ぶ楽しさが実感できる授業づくりと、個に応じた学習支援をさらに丁寧に行っていきます。また、学力検査の結果をもとに、今年度身につけなければならない学習内容がしっかり身に付くように学び直しをしていきます。

ご家庭でも、家庭学習の習慣化が図れるように、励ましの声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

## 徳育

### 豊かな感性と社会性を育む



「学校が楽しい」との肯定的評価が高く、「優しい声掛け」「あいさつ」の肯定的評価がやや上昇してきました。2学期は、学校行事や児童会行事等がかかわる場を意図的に設定し、活動を工夫した成果であると思われます。

3学期は、他者への感謝という意識で学級の枠を超えて取組を継続し、学校のよさに気付かせる取組を各学級、児童会でしています。

あいさつに課題があるため、あいさつをきちんとしている児童を手本とし、ほめて盛り上げていきます。また、「あいさつたすきリレー」として、1週間交代で学年ごとの取組を行い、気持ちの伝わるあいさつへの意識づけを工夫していきます。

## 体育

### 健康・安全と体力の向上を図る



「進んで運動」「めあてに向かって、練習・努力」への肯定的回答が90%以上あり高い評価でした。

3学期には運動委員会を通じて、縄跳びのワークショップを行い、児童集会で様々なスポーツを紹介しました。体育の授業では、めあてカードを活用して、児童の意欲をさらに引き出せるように工夫して活動しています。

家庭でのメディアルールについては、第3回ハッピーライフウィーク（生活習慣チェック）を機会に指導しました。また、1/19の学校保健委員会ではメディアコントロールをテーマにして、6年生児童と保護者、地域、中学校、教育委員会と共に、より良い生活習慣、メディアとのつきあい方について考えました。

今後も、児童への指導や啓発をしていきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

## 2. 出雲崎中学校

### 令和4年度 出雲崎中学校グランドデザイン



**教育目標**  
**豊かな心 たくましい実践**

“ふるさと出雲崎”に根付く  
**「心耕」の精神**

「心耕」の精神 ⇒ 「たくましい実践」を通して、「豊かな心」を醸成します

<p><b>【豊かな心】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自律の心」…自分で考え、判断し、行動する</li> <li>○「慈愛の心」…互いに認め合い、思いやる</li> <li>○「挑戦の心」…高い目標を掲げ、自己を磨く</li> </ul>	<p><b>【たくましい実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>← 自分で考え、自分の思いを伝えよう</li> <li>← 自分と仲間のために行動しよう</li> <li>← あきらめず、粘り強くやり抜こう</li> </ul>
--	---



#### 【令和4年度の重点『目指す生徒の姿』】

<p><b>【知】意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒</b></p> <p><b>【努力事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領を確実に実施するとともに、学習習慣の定着を図り、知識・技能を高める。</li> <li>○課題設定や発問を工夫し、考え、議論する場面を設定することにより、思考力・判断力・表現力を高める。</li> <li>○学ぶ意義を理解させ、学びの有用性を感得させることにより、主体的に学習に取り組む態度を育てる。</li> <li>○ICTを活用し、学びのデータや習熟度に応じた指導・支援を充実させることにより、個別最適化された学びの実現を図る。</li> </ul> <p><b>【目指す生徒の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○より良く表現しようとする姿             <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や生徒会活動等、学校生活の中で、各自が学期毎に5回以上文章や言葉で発表する。</li> <li>・「より良い表現」を意識して発表に取り組む。</li> </ul> </li> <li>○学びに向かう姿             <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムと同時に授業に取り組む。</li> <li>・スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。</li> <li>・家庭学習について、毎日60分+学年×10分以上、内容を工夫して計画的に取り組む。</li> </ul> </li> <li>○読書への関心             <ul style="list-style-type: none"> <li>・月2冊以上の読書をする。</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【徳】お互いを思いやる、心優しい生徒</b></p> <p><b>【努力事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりをもち、自己や他者、社会にとってより良い判断ができるよう、「考え、議論する道徳」を推進する。</li> <li>○同和教育を中心とした人権教育を推進し、人権意識の高揚を図り、差別や偏見を許さず、自他を大切に行動することができる力を育む。</li> <li>○教育活動の様々な場面で、「人とかかわる」交流の場面を設定し、集団の中で自己有用感を高めるとともに、互いの良さを実感させ、思いやりの心を育てる。</li> </ul> <p><b>【目指す生徒の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己肯定感・自己有用感             <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員会や学級の係活動等で自分の役割を果たす。</li> <li>・学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。</li> </ul> </li> <li>○豊かな人間関係             <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲と接するときに「慈愛」意識した言動を心掛ける。</li> <li>・悩みや困ったことがあったら、家族や先生、友人に相談することができる。</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【体】目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒</b></p> <p><b>【努力事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の健康や体力の向上に関心をもち、自分の生活を振り返りながら、主体的に健康を維持管理していこうとする態度を育てる。</li> <li>○基本的な生活習慣の確立に向けて、計画的・継続的な指導を徹底する。</li> <li>○教育活動全体を通して、生徒の前向きな取組、より高い目標に向かって努力しようとする姿勢を賞讃、奨励する。</li> </ul> <p><b>【目指す生徒の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体力の向上             <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業や部活動、昼休み等、日常生活の中で運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。</li> <li>・新体力テストにおいて、県平均を36項目中24項目以上超える。</li> </ul> </li> <li>○基本的な生活習慣の確立             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハッピーライフウィーク」の取組の中で、                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①23時までの自分の決めた時間に就寝する。</li> <li>②メディアの使用を2時間以内にする。</li> <li>③バランスのとれた朝食を摂る。</li> </ol> </li> </ul> </li> </ul>
--	--	--



<p style="text-align: center;">地域・保護者との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域の組織・人材             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援地域本部事業</li> <li>・学校評議員会</li> <li>・地域コーディネーター</li> <li>・地域おこし協力隊</li> <li>・地域の事業所、福祉施設等</li> </ul> </li> <li>◎家庭との協働             <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の確立                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピーライフウィークでの連携</li> <li>・家庭でのメディアのルールづくり</li> </ul> </li> <li>○規範意識の確立                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内ルールの育成</li> </ul> </li> <li>○豊かな人間性の育成                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、言葉遣い、身だしなみ</li> </ul> </li> <li>○学習支援                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習のみとりと支援・確認</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: center;">出雲崎町の学校教育の基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎生きる力の基盤となる確かな学力の育成（知）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養</li> </ul> </li> <li>◎豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進（徳）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力の育成</li> </ul> </li> <li>◎夢と志をもち、健康でたくましい心身の育成（体）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に挑戦する態度、最後までやり抜く強い意志と行動力を支えるたくましい心と健康な身体力の育成</li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: center;">小学校との協働（小中一貫教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎小中一貫教育活動の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間を通じた授業規律の徹底</li> <li>・9年間を通じた家庭学習の確立</li> <li>・「わかる」を積み重ねる指導の工夫</li> <li>・課題の洗い出しと系統的な指導の充実</li> <li>・「知・徳・体」の3部門での連携</li> <li>・9年間の見直しをもった「良寛学習」</li> <li>・発達段階に応じた体験学習の設定</li> <li>・道徳教育、キャリア教育の充実</li> <li>・継続的な情報交換による生徒指導</li> <li>・積極的な交流活動</li> <li>・キャリアパスポートによる連携</li> </ul> </li> <li>◎学力の向上に向けて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・共に伝え合い、学び合う場の設定</li> <li>・話し合い活動の計画的な設定</li> <li>・授業のUD化の推進</li> <li>・家庭学習指導の継続と連携</li> </ul> </li> </ul>
---	--	--





## 知育

知	評価項目	評価基準	学校評価アンケート結果	中間評価	評価	備考	
より良く表現しようとする姿	成果	より良く表現しようとする生徒が増加する。	生徒アンケートでこの項目が A：後期の結果が前期を上回る B：同程度 C：下回る	AB 評価 前期 80% 後期 90%		A	
	教育活動	ア 学校生活の中で学期毎に5回以上発表する。	生徒アンケートで A：4回以上の生徒が80%以上 B：4回以上の生徒が60%以上 C：Bに満たない	96%	C	A	授業や生徒会活動など、学校生活の中で、文章や言葉で発表する機会が月に何回位ありましたか。 5回以上・4回・3回・2回以下
		イ 「より良い表現」を意識して、表現することができる。	生徒アンケートで A：4, 3の生徒が80%以上 B：4, 3の生徒が60%以上 C：Bに満たない	90%	A	A	言葉や文章で発表するときに、より良い表現になるように意識して取り組みましたか。 4・3・2・1
	運営活動	ア 各教科、領域を通して、発表の機会を学期毎に2回設定する。	教師の評価で、全教師の合計が A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない	90%	B	B	各教科や領域を通して、発表の機会を学期毎にどのくらい設けましたか。 3回以上・2回・1回・0回
		イ 「より良く表現しようとする姿」を意識し、生徒が成果を感じられるように、表現活動を計画する。	教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない	90%	B	B	「より良く表現使用とする姿」の5項目を意識して表現活動を支援しましたか。 4・3・2・1
学びに向かう姿	成果	家庭学習や、授業に意欲的に取り組む生徒が増加する。	生徒アンケートでウ②の項目が A：後期の結果が前期を上回る B：同程度 C：下回る	AB 前期 95% 後期 90%		B	
	教育活動	ア チャイムと同時に授業に取り組む。	生徒アンケートで A：4, 3の生徒が80%以上 B：4, 3の生徒が60%以上 C：Bに満たない	100%	A	A	チャイムと同時に授業に取り組みましたか。 4・3・2・1
		イ スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。	小テスト、単元末テスト等の達成状況が A：全教科で80%以上 B：全教科で60%以上 C：Bに満たない	89%	B	A	5教科の授業担任が評価 追試等も含む 80%以上・70%以上・60%以上・60%未満
		ウー① 毎日60分＋学年×10分以上家庭学習に取り組む。	生徒アンケートで A：学年目標達成者が80%以上 B：60分以上達成者が80%以上 C：Bに満たない	A61% B36%	B	B	1日平均どのくらい家庭学習をしていますか。 学年目標以上・60分以上・30分以上・それ以下
		ウー② 家庭学習の内容を工夫し、計画的に取り組んでいる。	生徒アンケートで A：4, 3の生徒が80% B：4, 3の生徒が60% C：Bに満たない	90%	A	A	授業で学習したことが身に付くように、家庭学習の内容を自分で考えて、改善しながら取り組みましたか。 4・3・2・1
	運営活動	ア チャイムと同時に授業がスタートできるように授業を計画する。	教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない	100%	A	A	チャイムと同時に授業をスタートさせることができましたか。 4・3・2・1
		イー① 各教科で、小テストや単元末テスト等を実施し、達成感を感じさせながら、基礎力を身に付けさせる。	教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない	89%	A	B	5教科の授業の授業担当者が評価 小テストや単元末テストで、達成感を感じられるように支援しましたか。 4・3・2・1
		イー② 各教科で、授業と家庭学習をつなぐ学習内容を助言する。	教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない	90%	B	B	全教科の授業担任が評価 その日の家庭学習でできることなど、授業中に積極的に助言しましたか。 4・3・2・1
		ウ 家庭学習の実施状況を確認し、助言、指導を行う。	教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない	80%	B	B	各学年部の担当者が評価 家庭学習の実施状況を確認し、助言や指導を行いましたか。 4・3・2・1
	読書への関心	成果	本や新聞などの読み物に触れる機会を増やし、読書の楽しさを感じられるようにする。	生徒アンケートで、 A：後期の結果が前期を上回る B：同程度 C：下回る	AB 前期 96% 後期 45%		C
教育活動		ア 月2冊以上の読書をする。	生徒のアンケートで A：4, 3の生徒が80%以上 B：4, 3の生徒が60%以上 C：Bに満たない。	91%	B	A	月何冊ペースで読書をしていますか。 4 3冊以上 3 2冊以上 2 1冊以上 1 0冊
運営活動		ア 学級文庫を充実したり、おすすめの本を紹介したりすることで、読書への興味を引く。	教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80%以上 C：Bに満たない	83%	C	B	おすすめの本を紹介するなど、読書への関心を高めるために支援をしましたか。 4・3・2・1



# 徳育

徳	評価項目	評価基準	評価	備考		
自己肯定感・自己有用感	成果	自分がクラスや学校の活動に貢献していると実感して学校生活を送る。 Q-Uの結果を活用する。 (A. やる気のあるクラスをつくる)「16. 自分もクラスの活動に貢献していると思う。」5点満点 (C. 日常の行動を振り返る)「11. みんなのためになることを自分で見つけ実行している」4点満点→4×1.25=5点満点 A: 2つの合計値が8点以上 B: 2つの合計値が6点以上 C: Bに満たない	B	【2学期】 B 全校得点平均 7.49点 (A16) 3.65点、(C11) 3.84点 1年生 7.06点 2年生 7.61点 3年生 7.83点  【1学期】 B 全校得点平均 7.61点 (A16) 3.81点、(C11) 3.80点 1年生 7.6点 2年生 7.31点 3年生 7.93点		
	教育活動	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の役割を果たす。 <b>【来年度に向けて】</b> ・評価項目を次のようにする。「～で自分の担当の仕事に取り組んでいると思う。」 ・アンケートでは、委員会と係活動を分けて聞く。	生徒の学校生活アンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない ※1学期と比べて、50%以上、肯定的な割合が減っている。数値が下がったのは、生徒の自覚化の取組が不足していると思われるが、「役割」という言葉の意味が分かっていない可能性もある。	B	【2学期】 C 全校生徒 43% 1年生: 27% (内訳A 9%) 2年生: 53% (内訳A 0%) 3年生: 50% (内訳A 7%)  【1学期】 A 全校生徒 94% 1年生: 88% 2年生: 94% 3年生: 100%	
		イ 学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気づいて仕事を行う。	生徒の学校生活アンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	【2学期】 A 全校生徒 99% 1年生: 95% (内訳A 27%) 2年生: 100% (内訳A 65%) 3年生: 100% (内訳A 75%)  【1学期】 A 全校生徒 84% 1年生: 60% 2年生: 94% 3年生: 100%	
	運営活動	ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり、改善すべき点を指導したりする。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	【2学期】 A 92% (内訳A 69% B 23%) 【1学期】 A 91% (内訳A 58% B 33%)	
		イ 生徒会本部や毎月の専門委員会で振り返りを行うなど、活動の意味や学校生活向上に貢献する意義について指導する。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	【2学期】 A 100% (内訳A 69% B 31%) 【1学期】 A 100% (内訳A 67% B 33%)	
	豊かな人間関係づくり	成果	生徒がクラスの中にいるとほっとしたり明るい気分になる。 Q-Uの結果を活用する。 (A. やる気のあるクラスをつくる)「14. クラスの中にいるとほっとしたり明るい気分になる。」 A: 平均点が4.2点以上 B: 平均点が3.4点以上 C: Bに満たない	B	【2学期】 B 全校得点平均 3.89点 1年生 3.56点 2年生 4.11点 3年生 4.00点 【1学期】 B 全校得点平均 3.89点 1年生 3.64点 2年生 3.88点 3年生 4.17点	
		教育活動	ア 周囲と接するとき「慈愛」を意識しましたか。  ※1学期と比べて、30%程度肯定的な割合が減っている。2学期は、生徒同士が関わり合う活動が多かったので、相手の気持ちに対する自覚化がより行えるようになったことの流れかもしれません。	生徒の学校生活アンケートで (「あなたは、人の気持ちをくみ取りながら行動するよう心掛けましたか。」) A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	B	【2学期】 B 全校生徒 61% 1年生: 64% (内訳A 23%) 2年生: 76% (内訳A 35%) 3年生: 50% (内訳A 18%)  【1学期】 A 全校生徒 91% 1年生: 84% 2年生: 94% 3年生: 96%
			イ 悩みや困ったことがあったら、家族、先生や友人に相談できる。 ※1学期と比べて10%程度肯定的な割合が減っている。 <b>【来年度に向けて】</b> ・評価項目を次のようにする。「～があったら、相談できる人がいる。」評価項目に合わせて、評価基準の文言も修正する。	生徒の学校生活アンケートで A: 悩みや困ったことがあったら、誰かに相談できたと回答する生徒の割合が80%以上 B: 誰かに相談できたと回答する生徒の割合が60%以上 C: Bに満たない	B	【2学期】 B 全校生徒 73% 1年生: 50% (内訳A 5%) 2年生: 89% (内訳A 24%) 3年生: 82% (内訳A 36%)  【1学期】 B 全校生徒 82% 1年生: 68% 2年生: 81% 3年生: 96%
		運営活動	ア 学級活動や生徒会活動を通して、互いを尊重し合う人間関係作りを指導している。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	【2学期】 A 100% (内訳A 64% B 36%) 【1学期】 A 100% (内訳A 50% B 50%)
			イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上 C: Bに満たない	A	【2学期】 A 100% (内訳A 73% B 27%) 【1学期】 A 100% (内訳A 73% B 27%)

## 体育

体	評価項目	評価基準	評価	備考（令和4年度結果）
体力の向上	成果目標 ・2学期に実施する新体力テストで、36項目中、1学期に実施する新体力テストの県平均を24項目以上越える。（1学期は全48項目実施） ※1学期の新体力テスト：全国共通 ※2学期の新体力テスト：学校独自に実施 ※2学期は、屋内6種目のみ実施	2学期に行う新体力テストの結果で、36項目中、 A：24項目以上、県平均を上回る B：18項目以上、県平均を上回る C：Bに満たない ※総項目数：テスト6種目×各学年・男女6集団の合計=36項目	B	※2学期に最終的に評価する 1学期 22項目（48項目中）で県平均を上回った。達成率45.8% 2学期 22項目（36項目中）で県平均を上回った。達成率61.1%
	教育活動 ・体育授業や部活動、昼休み、日常生活のなかで、運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで「体を動かすことやスポーツが好きですか」という質問に A：好きという生徒が80%以上 B：好きという生徒が70%以上 C：Bに満たない ※男女とも数値が上回ることをとする。	B	好きという生徒（評価のA項目）が全校平均で 前期：76.6% 後期：75.6% A評価内訳 前期 後期 1年生：72% 73% 2年生：69% 65% 3年生：89% 89%
	運営活動 ・体育授業の準備運動で、体力づくり運動を毎時間実施する。（生徒が考案した出中トレーニングも含む）	4月～10月（水泳授業のある7月を除く）体育（準備運動）で、体力づくり運動を A：総時数の75%以上の時間で実践 B：総時数の60%以上の時間で実践 C：Bに満たない	A	毎授業で実施した。
基本的な生活習慣の確立	成果目標 ・ハッピーライフウィークでの基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。	教育活動の重点3項目の取組で A：3項目を達成する B：2項目を達成する C：Bに満たない	B	A評価を超えた項目は「バランスの取れた朝食を食べる。」のみであった。
	教育活動 ・ハッピーライフウィークで ①23時までの自分の決めた時間に就寝する。 ・ハッピーライフウィークで ②メディアの使用を2時間以内にする。 ・ハッピーライフウィークで ③バランスの取れた朝食を食べる。	生徒取組カードで A：90%以上の生徒が実施 B：80%以上の生徒が実施 C：Bに満たない	B	6月（前期） 9月（後期） ①全校79.8% ①全校86.3% 1年69.7% 1年84.6% 2年86.5% 2年82.7% 3年84.2% 3年90.3%
		生徒取組カードで A：90%以上の生徒が実施 B：80%以上の生徒が実施 C：Bに満たない	B	②全校91.7% ②全校88.9% 1年82.9% 1年82.2% 2年97.0% 2年85.0% 3年95.9% 3年98.0%
		生徒取組カードで A：90%以上の生徒が実施 B：80%以上の生徒が実施 C：Bに満たない	A	③全校95.2% ③全校92.1% 1年91.4% 1年88.0% 2年96.9% 2年96.9% 3年97.5% 3年97.5%
運営活動 ・ハッピーライフウィーク中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。	ハッピーライフウィーク中に担任か学年主任、養護教諭のいずれかが A：毎回、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う B：年間1回以上、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う C：Bに満たない	B	今年度は、第1回目の結果から生徒自身が課題を読み取り、正しい生活習慣についてのビデオ視聴を行った。後期学校評価より、生活改善の働きかけをおこなったかの評価でA評価が+26%、B評価が-35%、C評価が+8%だった。呼びかけが不十分だったという意見もあったため、指導の仕方については今後も検討していく。	



### 3. 学校支援地域本部事業

令和5年3月 学校支援地域本部事業報告

出雲崎小学校 (中) 出雲崎中学校

# 活動のゆみ

運営委員長 内藤 仁

今年度も小中両校では、コロナ禍の生活様式を継続しながらも、地域との連携を大切に考え、感染状況に応じた活動の工夫を行ってきました。

活動を見て感じることは、「体験的な活動の中で、子どもたちは人とかわることに喜びを感じている」ということです。人と出会い、交流し、学びを深めるだけでなく、相手に認められることで豊かな心が育ち、地域のよさにも目が向きます。今後も、地域の資源と人材を生かした学びが展開され、出雲崎の未来を担う豊かな心をもつ子どもたちを育てていくことができるよう支援してまいります。

本リーフレットを通して、小中学校の活動の一端を皆様にご報告させていただきます。今後も変わらぬご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



1年

## 大すきいっぱい みんななかよし ～すてきなたからもの みつけた～

入学してから、多くのことに目を輝かせて、たくさんのごことにチャレンジしました。モルモットやアサガオ、サツマイモの世話を通して、生き物に対する思いやり、協力することの大切さを学びました。ほなみが丘探検や昔の遊び交流会では、地域・保護者の方に教えていただきながら、楽しく活動できました。自然・生き物・人々と関わりは、すてきな宝物になりました。



ほなみが丘探検



昔の遊び交流会体験



さつまいも掘り

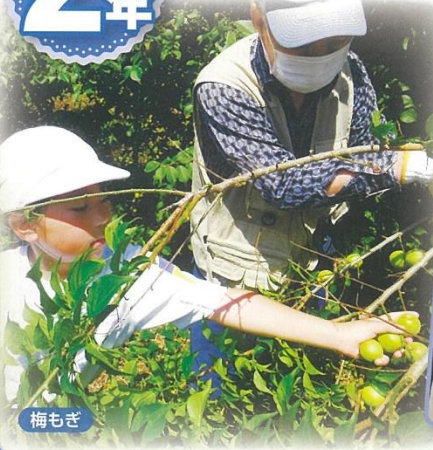


モルモットのもっとくん

2年

## 町のすてき大発見 ～わたしの町大好き～

2年生は「島崎川生き物調査」「梅もぎ体験」「まちたんけん」を通して、地域の方や自然に関わりました。島崎川にはたくさんの生き物がいました。梅もぎ体験で取った梅は、ジュースや梅干しにいただきました。まちたんけんでは、出雲崎町の人やものよさにたくさん触れました。これらの経験を通し、一人一人が出雲崎町のすてきや魅力を実感することができました。



梅もぎ



町探検



島崎川生き物調査

3年

## 出雲崎の“すてき”をさがそう!

出雲崎についても学びました

3年生から始まる社会の学習。「身のまわりにどんなものがあるのかな」…こんな“はてな?”をきっかけに、わたしたちの出雲崎町について見つけ始めたくすのき3年生。社会の学習を発展させ、新たに芽生えた課題「出雲崎の“すてき”をさがそう!」を総合タイムで解決することとしました。課題を設定する～解決の見通しを立てる～解決するという課題解決の方法を学習しました。また、その中で、良寛さまを始めとした自分なりの出雲崎の“すてき”を見つけることができました。



おなじみ!良寛牛乳



良寛記念館の前で「はい、チ～ス!!」



日本でここだけ!!

出雲崎と言えば「良寛さま」





4年

## はなみずき自然環境調査隊 ~自分たちにできることを考えよう~

プールの生き物調査



4年生は、自分たちの身近な「水」について考えました。浄水場・浄化センター見学やプールの生き物調査、島崎川の水質調査、講師の方々のお話から、水がないとわたしたち人間が生きていけないこと、世の中にはきれいな水が飲めない人たちがいること、水を通した争いが起こっていることなどを学びました。

自分たちでもできることは何かを考え、できることを実践しました。水を無駄遣いしないこと、節水を促すポスターを作成することなど、自分たちができる第一歩を考えました。

浄水場見学



浄化センター見学

島崎川の水質調査



5年

## 出雲崎の「食」を見つめ直そう ~おいしいお米でみんなHAPPY~

梅干し作りに挑戦



5年生は米づくり体験を通して、お米ができる過程だけではなく、米づくりに関わる方の思いに触れながら、お米の大切さを学びました。

また、梅もぎ体験も行い、梅ジュースと梅干し作りに挑戦しました。家庭科の学習と関連付けて、自分たちで炊いたご飯の上に、手作りの梅干しをのせて「いただきます！」格別の味わいでした。『地産地消』ができる、この出雲崎の豊かさを改めて感じる事ができました。



田植え体験



鎌で稲刈り

地域の福祉施設にお米のおすそわけ



6年

## 私たちのまち ~魅力あふれる出雲崎~

これまでの小学校生活の学習・経験を通して、様々な出雲崎町の名所や人との出会いがありました。今年6年生になり出雲崎町の魅力を改めて再確認し、町の方はもちろん町以外の方にも知って欲しい。そんな思いから、出雲崎の魅力を『絵』に表現して展示会をしたり、『いずもぎまち50おんひょう』や『出雲崎の魅力カルタ』を作って配付したりしました。

この魅力あふれる出雲崎町を“私たちの町”として、ふるさとを誇りに思い大事にする心を育みました。

出雲崎町50音表



50音表作り



絵画の展示



絵画のお届け



# 出雲崎中学校の取組

## ふるさとの方々から学ぶ

地域に関するたくさんの方々からおいいただき、様々な分野について学ぶことができました。



4月 自転車教室



11月 議会議員交流町づくり提案



10月 薬物乱用防止教室



5月 11月 防災教室



12月 性の指導



1月 卒業生激励



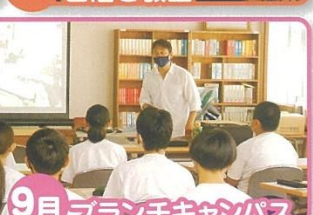
10月 歯磨き教室



5月 資源物回収



2月 良寛学習修了証「慈愛」授与式



9月 ランチキャンパス



6月 農作業体験



7月 「心耕」書道教室



7月 あいさつ運動

出雲崎町の各事業所や良寛ゆかりの地を訪れ、自然、産業、文化など町の歴史や現在を学びました。

## ふるさとへの愛着と誇りを育てる





## IV 社会教育事業の実施状況

### 1. 社会教育・公民館事業

#### ①青少年教育事業

事業名	事業の対象	実施内容
出雲崎ッズ	小学生	<p>実施回数 8/9 (火)</p> <p>会 場 中央公民館大広間</p> <p>講 師 新潟大学村山研究室学生</p> <p>申 込 数 8名</p> <p>目的及び内容</p> <p>大学生と交流することで、小学生が「あなりたい」と将来像を描くことができる。また、大学生の姿を見て、小学生は人との関わり方（コミュニケーション力）を身につけていく。</p> 
出雲崎公設学習塾 「まち塾」	中学生	<p><b>実施回数</b> 【中学校 2.3 年生】 32名 火曜・水曜 18時～21時（3時間） 土曜・日曜 13時～17時（4時間） 夏季・冬季特別講座 13時～17時（4時間） 5月～3月開催 169回実施</p> <p>【中学校 1 年生】 6名 夏季・冬季特別講座 13時～17時（4時間） 8回実施</p> <p><b>会 場</b> 多世代交流館きらり・中央公民館</p> <p><b>講 師</b> 教員退職者 7名配置</p> <p><b>理 念</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知的好奇心を高める学びの場を提供</li> <li>・ 自らの興味・関心分野を見つけ出す場</li> <li>・ 発展的な学びで出雲崎町や日本を担う人材育成</li> <li>・ 高等学校・大学への進学に対応する受験学力の定着</li> </ul>
放課後子どもプラン ・ 放課後児童クラブ (放課後児童健全 育成事業)	小学校 1～6年	<p><b>実施回数</b> 通年（月～金放課後、第1・3・5土曜日、 振替休業日、長期休暇期間）</p> <p><b>会 場</b> 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室</p> <p><b>登 録 数</b> 1年生：13名      2年生：15名 3年生：15名      4年生：4名 5年生：0名      6年生：0名      (3月末現在)</p> <p>目的及び内容</p> <p>昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育を図るため、遊びや生活の場を提供する。</p>



事業名	事業の対象	実施内容
・放課後子ども教室	小学校 1～6年	<p>会場 出雲崎小学校生活科室、中央公民館、町民体育館</p> <p>申込数 1年生：8名 2年生：15名 3年生：10名 4年生：7名 5年生：10名 6年生：7名</p> <p>目的及び内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育力を活かし、体験や交流、学習など多様な活動の機会の提供。</li> <li>・放課後等の安心安全な居場所づくり。</li> </ul> <p>(主な内容)</p> <p>野球教室、えいごあそびうた教室、英語教室 伝統文化おけさ教室、運動あそび塾、音楽あそび教室、寺子屋教室、スポーツ教室</p>

「野球教室」



「えいごあそびうた教室」



「英語教室」



「伝統文化おけさ教室」



「運動あそび塾」



「音楽あそび教室」



「寺子屋教室」



「スポーツ教室」



## ②一般教育事業（成人期・高齢期の学習活動）

事業名	実施内容
出雲崎総合大学	<p>実施回数 全10回開催（歴史・文化・環境など幅広く実施）</p> <p>受講者数 32人（延参加者224人）</p> <p>実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力ある、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的とした学習講座。</p> <p>〈主な講座〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良寛記念館所蔵作品説明</li> <li>・「倭国大乱」と出雲崎</li> <li>・源川彦峰作品展・講演会</li> <li>・県立近代美術館出前講座・鑑賞 ～平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰～</li> <li>・出雲崎とえご</li> <li>・瀬戸内と越後の文化の架け橋をたどる ～北前船を馳せた男たちの航跡に乗って～</li> </ul>
出雲崎総合大学 同窓会	<p>冬の講座 2月20日開催</p> <p>内容 新潟の縁起菓子～初節句の祝菓子～</p> <p>（講座風景）</p>  <p>（閉校式記念写真）</p> 

事業名	実施内容
公民館講座 料理教室	対 象 一般町民 実 施 日 夏～秋 開講予定だったが、講師との調整が遅れ開講予定時期が冬場にずれ込み、開講を見合わせたため中止。
フラワー アレンジメント教室	実 施 日 R4 10/26(水) コサージュ作り 参加者 8 名 R5 2/18(土) 春桃アレンジメント 参加者 5 名 R5 3/18(土) 春色アレンジメント 参加者 5 名 講 師 明田川 綾子 氏
古文書に親しむ講座	対 象 一般町民 実 施 日 夏～秋 開講予定だったが、講師との調整が遅れ開講予定時期が冬場にずれ込み、開講を見合わせたため中止。
キッズダンススクール	実 施 日 1 期 7/6、20、27、8/3、10、24 計 6 回 2 期 2/22、3/8、15、31 計 4 回 受講者数 小学生（1～3年生） 10 名 講 師 磯野 詩愛 氏
金融教室	実 施 日 11/26 受講者数 5 名 講 師 田口 厚子 氏
コーヒー教室	対 象 一般町民 実 施 日 講師都合により中止。
おうちパン教室	対 象 一般町民 実 施 日 講師都合により中止。

### ③芸術・文化活動

事業名	実施内容
東京藝大生招致事業	参加者数 東京藝術大学 大学院生 9 名 実 施 日 7 月 31 日(土)～2 日(火) 2 泊 3 日 内 容 街並スケッチ画を制作し、完成した作品の鑑賞会と作品を町へ寄贈。
第 18 回良寛さん 心の書道展	目 的 子どもたちに良寛さんの慈愛の心を継承する 対 象 出雲崎小、中学生 応 募 数 232 点 展示期間 9 月 10 日(土)～19 日(月・祝) 会場：中央公民館講堂

事業名	実施内容
生涯学習 フェスティバル	作品展示 10月29日(土)～11月3日(木・祝) (最終日来場者数 400人) ステージ発表 11月3日(木・祝) 廃棄図書無料配布(図書館) 健康づくり・防災・交通安全ブース  
文化サークル 活動助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3サークルに助成                書道、ガーデニング、英会話</li> </ul>
関係団体活動助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2団体に助成                出雲崎妻入りの街並景観推進協議会                街並活性研究会</li> </ul>

#### ④学校・家庭・地域の連携事業

事業名	実施内容
学校・家庭・地域の 連携事業 (学校支援地域本部)	学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としている。 地域コーディネーターが中心となって、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力して小中学生を対象に活動を実施。

## ⑤その他事業

事業名	実施内容
公民館だより発行	毎月1回(4ページ)、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。
生涯学習 カレンダー作成	公民館、町、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に3月6日に配布。(作成部数1,750部)
生涯学習 人材バンクの策定	<p>目的 “誰でも何かの先生になれる”を合言葉に、地域住民から先生を見つけて、公民館講座や放課後子ども教室等の事業に講師として参画し、各人の持つ技能や技術等を広く伝えていくことによって、生涯学習の推進を図る。</p> <p>対象 一般町民</p>
良寛さん 学びなおしの取組	<p>○良寛さんの考え方・生き方を学びなおすことに焦点を当てた取組</p> <p>・「長岡市・柏崎市・出雲崎町連携リレー講演会」の実施 実施日：出雲崎会場8月11日(木・祝)</p> <p>・「良寛さま朗読ライブ」の実施 実施日：8月21日(日)</p>
良寛記念館	<p>良寛堂建立100周年記念事業</p> <p>○年3回の特別企画展</p> <p>・春の特別企画展「良寛と山田寒山展」 ギャラリートーク 5月22日(土)開催</p> <p>・夏の特別企画展「河内舟人展」 ～良寛を最も鮮やかに描いた日本画家～ ギャラリートーク 7月23日(土)開催</p> <p>・秋の特別企画展「良寛堂を建立した佐藤耐雪展」 ギャラリートーク 11月12日(土)</p> <p>○冬期『常設展』併設特別展「近代の書家展」</p> <p>○良寛記念館応援倶楽部てまりの会会員所蔵作品展示</p> <p>○良寛記念館つるし雛飾り</p> <p>○ギャラリー朗読会 3月19日(日)開催</p> <p>○良寛さん絵手紙コンクールの開催 10月1日(日)・2日開催</p>

事業名	実施内容
北前船日本遺産 推進事業	<p>○町家展示施設企画展            「出雲崎の船絵馬展」            船絵馬は、海上交通の安全を祈願して、地元や寄港地の神社に船主らが奉納したもの。羽黒神社船絵馬保存会の協力を得て、29面の船絵馬の複製を作製し、展示活用している。</p> <p>○総合大学公開講座            「瀬戸内と越後の文化の架け橋をたどる            ～北前船を馳せた男たちの航跡に乗って～」            講師 玉岡かおる（歴史小説家）            北前船の帆布を発明した播州高砂出身の工楽松右衛門について取材ノートをもとにした講演会。            （21頁「総合大学」実施内容で項目紹介）</p> <p>○北前船日本遺産ポータル「北前船データベースの登録」            北前船日本遺産推進協議会が運営する北前船日本遺産ポータル内の「北前船データベース」に町の構成文化財を登録。各地の寄港地とともに、出雲崎の北前船関連資産散策マップ、動画、関連サイト等、様々なデジタルコンテンツのリンク先も掲載。</p>



### ⑥施設利用状況（公民館・良寛記念館）

#### 公民館利用者数

令和3年度（R3.4.1～R4.3.31）		令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
2,005人	6,884人	1,914人	9,703人

#### 良寛記念館入館者数

令和3年度（R3.4.1～R4.3.31）	令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）
4,155人	8,166人



## 2 図書館事業

### ①図書館利用状況について（3月末日現在）

表1：分類別利用状況

	令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)		令和4年度 (R4.4.1~R5.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	24冊	6冊	43冊	5冊
哲学	46冊	8冊	50冊	37冊
歴史	91冊	17冊	104冊	7冊
社会科学	131冊	10冊	92冊	11冊
自然科学	92冊	24冊	88冊	23冊
技術	101冊	15冊	154冊	4冊
産業	51冊	6冊	70冊	3冊
芸術	117冊	15冊	85冊	12冊
言語	2冊	4冊	8冊	8冊
文学	2,409冊	611冊	2,383冊	949冊
絵本・紙芝居	426冊	251冊	632冊	189冊
雑誌	137冊	21冊	159冊	24冊
計	3,627冊	988冊	3,868冊	1,272冊

### ※ 年度別貸出冊数

令和2年度	令和3年度	令和4年度
4,525冊	4,615冊	5,140冊

表2：図書貸出年齢別貸出人数

	令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)		令和4年度 (R4.4.1~R5.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般（23歳以上）	1,197人	294人	1,100人	326人
学生・生徒 (13歳~22歳)	28人	10人	22人	0人
児童（12歳以下）	57人	3人	106人	14人
合計	1,282人	307人	1,228人	340人



※年度別貸出人数

令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1,531 人	1,589 人	1,568 人

表 3 : 貸し出し以外の図書館利用人数

	令和 3 年度 (R3.4.1~R4.3.31)		令和 4 年度 (R4.4.1~R5.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般 (23 歳以上)	158 人	50 人	145 人	42 人
学生・生徒 (13 歳~22 歳)	19 人	62 人	21 人	1,148 人
児童 (12 歳以下)	83 人	0 人	35 人	0 人
合計	260 人	112 人	201 人	1,190 人

※年度別図書館来館者総数

令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1,960 人	1,961 人	2,959 人

表 4 : 図書購入状況

	令和 3 年度 (R3.4.1~R4.3.31)		令和 4 年度 (R4.4.1~R5.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	6 冊	0 冊	2 冊	1 冊
哲 学	4 冊	2 冊	1 冊	3 冊
歴 史	15 冊	2 冊	8 冊	1 冊
社会科学	26 冊	4 冊	14 冊	1 冊
自然科学	22 冊	1 冊	24 冊	4 冊
技 術	10 冊	5 冊	14 冊	3 冊
産 業	12 冊	2 冊	5 冊	1 冊
芸 術	19 冊	2 冊	4 冊	0 冊
言 語	2 冊	0 冊	2 冊	0 冊

	令和3年度 (R3.4.1～R4.3.31)		令和4年度 (R4.4.1～R5.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
文学	235冊	107冊	255冊	126冊
絵本・紙芝居	84冊	66冊	106冊	43冊
計	435冊	191冊	435冊	183冊
(雑誌種類)	7種類	2種類	7種類	1種類

※年度別購入冊数

令和2年度	令和3年度	令和4年度
635冊	626冊	618冊

## ②第2次出雲崎町子ども読書活動計画の策定

令和5年3月で第1次出雲崎町子ども読書活動推進計画期間が終了する。子どもの健やかな成長のために身近な家庭、地域、学校等のもとより、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことがますます重要となっている。

このため、第1次計画の成果と課題を整理し、基本的な考えを継承しつつ更なる取り組みの拡大や継続的な充実を目指して、令和5年度から令和9年度の5年間を計画期間とする第2次出雲崎町子ども読書活動推進計画を策定した。

## ③その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1歳6ヶ月になる児童に絵本3冊を贈呈している。
親子文庫	小学校を通じて、小学2～5年生の家庭に対し、本のセット(児童とその保護者)を貸し出す。また、良寛に関する図書の配本も行った。
除籍図書の無償配布	11月3日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布。
県立図書館図書の貸出	県立図書館からセット図書として100冊単位で借り受け、町民に貸出す。(年間3回実施) ※中央公民館・海岸公民館 1回につき各100冊所蔵
良寛さんコーナーの新設	今まで海岸公民館だけの設置であったが、中央公民館でも新設コーナーを設け、良寛さんに親しんでもらうよう取り組んだ。

### 3 社会体育事業

#### ①町内大会

大会名	実施日	備考 今年度（昨年度）
第44回 町民バレーボール大会	6月26日(日)	5チーム 49人 (中止)
第16回 町民ウォーキング	10月16日(日)	17人 (雨天中止)
第41回 町内ゲートボール大会	10月12日(水)	6チーム 34人 (6チーム 42人)
第33回 町民ソフトバレーボール大会	11月20日(日)	12チーム 70人 (12チーム 61人)
第7回 町民卓球大会	12月4日(日)	11チーム 60人 (中止)
第36回 屋内ゲートボール大会	2月8日(水)	6チーム 35人 (6チーム 36人)
第42回 町民バドミントン大会	10月23日(日)	中止 (中止)
町民登山	5月29日(日)	弥彦山：10人 (小木ノ城：7名)
	9月25日(日)	米山：7人 (中止)



弥彦山登山



町民ウォーキング

## ②体力づくり事業(実施場所:町民体育館2階トレーニング室)

事業名	実施日	備考 今年度(昨年度)
トレーニング教室	5月～3月 全20回	申込:11名 (申込:5名)

## ③スポーツ教室等

大会名	実施日	備考 今年度(昨年度)
わんぱく水泳教室	8月1日～8月5日 全5回	申込:19人 延べ:85人 (申込:28人 延べ:127人)
柔道教室	通年(火・金)	6人(8人)
テニス教室	5月～11月 全20回	申込:18人 延べ:288人 (申込:12人 延べ:198人)
柔道昇級審査会	11月28日(日)	6人(8人)
さわやかスポーツ教室	通年(火) 全16回	申込:17人 延べ:166人 (申込:21人 延べ:159人)
いきいき体操教室	8月～12月 全10回	申込:9人 延べ:93人 (申込:10人 延べ:57人)
ストレッチポール教室	5月～12月 全20回	申込:15人 延べ:351人 (申込:13人 延べ:124人)
小学生スポーツチャレンジ教室	バレー:6～12月 全24回 卓球:10～12月 全10回	バレー 申込:18人 延べ:309人 (申込:16人 延べ:117人) 卓球 申込:5人 延べ43人
スキー&スノーボード教室	2月19日(日)	32人(中止)



バレーボール教室



ストレッチポール教室

#### ④体育協会主催事業

事業名	実施日	備考 今年度（昨年度）
姉妹都市 中学生交流スポーツ大会	7月	会場：出雲崎町 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (中止)
姉妹都市 親善スポーツ大会	10月	会場：出雲崎町 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 (中止)
第21回出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日(金)	87人(中止)

#### ⑤スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備考
中越地区社会体育研究協議会	4月27日(水)	長岡市
北陸地区スポーツ推進委員研修会	中止	石川県
新潟県スポーツ推進委員大会	10月22日(土) ～23日(日)	新潟市
全国スポーツ推進委員研究協議会	11月17日(木) ～18日(金)	滋賀県
二市三刈羽ブロック研修会	9月3日(土)	長岡市
中越地区社会体育総合研修会	9月4日(日)	加茂市



二市三刈羽ブロック研修会



中越地区社会体育総合研修会

## ⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

・スポーツ指導者派遣事業

「コーディネーショントレーニング教室」3月開催 計5回

## ⑦スポーツマイレージ事業

町民体育館利用者にポイントを付与し、ポイントがたまる都庁内のお店で使える商品券と交換する事業 参加・登録者数→157名 特典達成者→50名

## ⑧体育施設利用状況

	令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	令和4年度 (R4.4.1~R5.3.31)
町民体育館	18,851人	18,853人
(トレーニング室)	(7,558人)	(7,000人)
町民野球場	2,620人	2,296人
多目的運動場	1,092人	1,360人
プール	2,601人	3,268人
柔道場	539人	324人
屋内GB場	3,556人	3,026人

### ▶概要

令和4年度も昨年度と同様に青少年や一般成人等を対象とした各事業について、新型コロナウイルス感染防止のため中止または縮小した事業等が多かった。次年度以降は、学習意欲の高まりや多様化に対応できるよう感染症対策を取りながら内容の一層の充実を図っていく。

### ▶成果と課題

- 1 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるので有効なものと考えている。一方、参加者の高齢化や固定化により新規参加者が少ないことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。
- 2 第3次生涯学習推進計画により、町民の誰もがいつでも、どこでも、生涯を通して自分らしく自主的に学習することができ、楽しみや生きがいの発見などにつながるよう生涯学習を推進していく。
- 3 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため校舎の空き教室を活用したり、支援員の増員を行い平日、長期休暇に利用者のニーズにあった運営を行っている。

- 4 インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子どもたちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子ども読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
- 5 ネット社会の進展により、子供たちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っって子供たちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
- 6 町のシンボルであり重要な観光拠点でもある良寛記念館の発展に寄与することを目的とした組織「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」は、設立から2年目を迎え、入会者も予定を上回り盛会であった。次年度も引き続き充実した活動を図っていく。
- 7 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室で興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
- 8 町民のニーズにあったスポーツ活動の機会を町民と協働で実施していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実していくことが重要で、そのために町民に知ってもらえるような情報発信の工夫が必要となっている。
- 9 家庭教育は自制心、自立心等を育成する大切な役割を果たすため、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や親が家庭教育に関して気軽に相談でき、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子育て家庭を支援していく体制づくりが必要である。



## V 学校・社会教育施設の整備充実

▶整備の状況	<ol style="list-style-type: none"><li>1 学校教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none"><li>○ 小学校給食室給水給湯配管改修工事</li><li>○ 小学校給食室 LED 照明改修工事</li><li>○ 小学校屋上階段内壁改修工事</li><li>○ 中学校体育館トイレ改修工事</li><li>○ 中学校屋上階段内壁改修工事</li><li>○ 中学校中庭モニュメント塗装工事</li></ul></li><li>2 社会教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none"><li>○ 中央公民館外壁修繕工事</li><li>○ 中央公民館変圧器等取替工事</li><li>○ 展示棟屋根改修工事</li></ul></li><li>3 社会体育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none"><li>○ 町民体育館外壁改修工事</li><li>○ 町民プールスライダーポンプ入替工事</li></ul></li></ol>
--------	---

### ▶概要

本町は学校教育施設や社会教育、社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修や機器の購入などの整備は概ね完了している。本年度は安全上緊急を要する改修や機器の購入などを行った。

### ▶成果と課題

本年度は、小中学校の施設の長寿命化計画に基づく計画的な老朽化対策として、小中学校の屋上階段内壁改修を行うことにより、施設の延命化が図られた。

GIGA スクール構想の前倒しにより、1人1台端末を整備することになり、学校でのインターネット環境の整備を行い、R3年度からタブレットによる学習を本格的に進めている。

社会教育・体育施設では、点検結果報告に基づき外壁修繕が行われ環境対策、維持管理費の軽減が図られ、今後も町民の健康増進とスポーツ振興に役立つ施設として利用率向上を図っていく。

今後とも、厳しい財政状況の中、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

## VI 学識経験者からの総合評価

元長岡市立東中学校長 佐藤忠弘

本年度は、令和12年度を目標年度とする『第6次出雲崎町総合計画』の初年度であった。「いままでも、これからも、住み続けたい 関わりたい 帰ってきたい 出雲崎」を基本構造理念として5つ基本目標を掲げ、町総体としての取組をスタートさせた。とりわけ、教育・文化面の基本目標4「夢を育み、誇りある歴史、文化を継承するまちづくり」に、行政、地域、学校が密に連携しその推進にあたられたことに敬意を表したい。

教育委員会活動では、6月開催の町長招集「総合教育会議」で、コロナ感染防止における新たな対応への移行を見据えて十分な協議がなされている点が高く評価できる。特に「第3次出雲崎町生涯学習推進計画」に基づき、「新型コロナウイルス感染対策下での教育活動と学校管理」「GIGA スクール構想の推進に向けた取組」「個別最適化の学びを推進する特別支援教育の明確化」等、時代の要請に真摯に向き合う姿勢に敬服した。今後とも社会の動向と出雲崎教育の現況を的確にとらえ、ローリング方式によるPDCAカリキュラムマネジメントの実施に努めていただきたい。

学校教育においては、小、中学校ともに定期的な「学校評価」の実施とその結果の分析評価が的確になされ、指導の改善に生かされていることが素晴らしい。小学校の児童アンケート結果では、学校生活や学習活動についての肯定的回答率が高く、中学校の生徒アンケート結果でも、学びへの主体的、積極的姿勢が育ってきていることが分かる。校長を中心に教職員のベクトルをそろえた指導がなされている証左と言える。また、その背景には、教育委員会による教育補助員、英語指導員、理科教育支援員、介助員等の配置や学校支援地域本部による地域資源を活用した教育支援活動の御尽力があることを見逃せない。一方、確かな学力の向上の観点に立つと、小学校の算数、中学校の数学の学力向上が望まれる。放課後子ども教室や公設学習塾「まち塾」の支援と連携を一層確かなものとしたい。

社会教育事業においては、公民館事業、社会体育事業ともに、昨年度までコロナ禍対応で中止を余儀なくされていた多くの事業が開催され活気が蘇ってきた。公民館利用者数も昨年度比30%増、良寛記念館入館者数は倍増している。また、図書館来館者数、利用冊数、貸出冊数も増えている。高齢者の孤立を防ぎ、生涯を通して生きがいを見出す場の充実を図ることの重要性を示唆している。なお、放課後児童クラブの運営について、申込者の増加に伴う活動場所の確保、支援員の不足が課題となっている。物的、人的環境整備改善に一層努めていただきたい。

地方からの人口流出が全国的な課題となっている中、出雲崎町は4年連続転入超過となっているという記事が新聞掲載された(2023.4.12新潟日報)。その背景に手厚い子育て支援策があることを分析している。子育て世代、子ども世代のニーズに応える教育の推進も強く求められてくる。『第6次出雲崎町総合計画』が目指す理念の実現に向けた出雲崎教育の発展を心から祈っている。

## VII その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立東中学校長	佐藤 忠弘	長岡市在住 (旧三島町)

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(令和5年3月31日現在)

職 名	氏 名	備 考
教育長	曾根 乗知	
委員	佐藤 正志	教育長職務代理者
委員	大磯 多華子	
委員	宮田 よしみ	
委員	松岡 聡	

—職員名簿—

職 名	氏 名	備 考
教育課長	内藤 良治	
管理指導主事	近藤 道範	
教育課課長補佐	吉岡 育子	
教育課係長	高橋 聡	
教育課主任	山崎 健太	
教育課主任	小林 ひろ子	
教育課主事	石津 大弘	
教育課主事	名子屋 龍司	
教育課主事	大矢 遼	
事務職員	竹村 しのぶ	
事務職員	小川 真紀子	
用 務 員	小林 秋子	
清 掃 員	柴田 圭一	
良寛記念館 館長	永寶 卓	学芸員
同 事務職員	小黒 晴美	
同 事務職員	大久保 淳子	
同 事務職員	佐藤 佐由里	